

## 新潟市暮らしの点検・評価アドバイザー会議におけるご意見への対応等

事業名：外国人誘客促進事業（担当：観光政策課）

No.	ご意見	対応等
1	岩室には外国人観光客の受け入れ態勢の整っているホテルが一つしかない。地域を知ってもらうためのパンフレット等も作成しているが、一番の問題は語学に堪能な人が少ないこと。産学官の連携で、語学に堪能な人を登録して、ホテルの語学研修などに派遣してもらう様な仕組みができないか。	既に、ボランティアガイドを養成しています。このボランティアガイドは留学生が多く、本業の学業による自由時間の制限や、養成しても1～2年で帰国するなど、課題がたくさんあります。 今後は、この課題を解決し、ボランティアガイドをニーズに合った派遣ができる仕組みづくりが必要と考えています。
2	団体の観光客には通訳がついてくるので問題ないが、通訳のいない団体や個人の観光客に対応するための仕組みができれば、もっと受入れができる。	ホテルのフロントでは、概ね英語対応は可能となっていますが、他の言語の対応ができていないことが現状です。 タブレットを利用した、通訳サービス等を活用している例もありますが、宿泊施設の状況にも差があり、これをどのように解決するかが課題となっています。
3	外国人観光客を呼び込む方法の一つとして口コミが大きな力がある。岩室に「無匠庵」という施設があるが、イベントをやると口コミで外国人が集まってくる。芸妓の活用についても、口コミを活用して広げてはどうか。	口コミは大きな宣伝力があると認識していることから、フォロワー数の多い有名ブロガーを新潟に招聘し、新潟の情報発信を行う事業を既に行っています。
4	新潟が単独で誘客するのは非常に難しい。ターゲットとなる他県（富山や金沢など）とタイアップして進めていくべき。	外国人誘客は、市単独で行うことは難しいため、現在も、新潟県を中心に一体となって行っています。 また、広域連携については、上越新幹線沿線、近県の会津若松市、食でつながる鶴岡市等、北陸も含め全方向にアンテナを伸ばし、新潟にないものと、連携市が持っているものを相互補完しながら取り組んでいます。
5	ムスリム対応（祈祷場の設置など）を考える必要がある。また、外国人同士で情報交換できる、外国人専用の観光客交流センターの設置を行政があまり関わらない方法で検討してもらいたい。	外国人専用の観光客交流センターは、重要であると思いますが、行政主導ではうまくいかないと考えます。 いい知恵があれば検討したいので、ご協力いただきたいと思います。

■ その他のご意見

- ・新潟に1～2泊してもらえるような、周辺地域にない魅力あるコンテンツが必要。新潟市の中心部に、京都にあるような常設で芸妓など日本の情緒が楽しめて一定時間過ごせて、その周辺で買い物ができるようなものを重点的に整備してもらいたい。
- ・外国人が求める満足度が増えている。そこに住む人たちとの交流を求めている。古町の空き家を活用して宿泊してもらい、農業体験やトレッキングなどで楽しませる方法もある。住民たちと交流して、交流した住民にまた会いたいと思わせることで、再度訪れていただくこともできる。
- ・魅力のとらえ方が少し変わってきている。東京でもきれいなホテルの宿泊より下町が人気になっている。世界的にもタイなどでは安い宿泊施設でその国や地域の人情に触れることを求めるようになってきている。新潟も一口に外国人観光客と括らず、国や客層に応じたプログラムの組み立てが必要。
- ・NGTもできるのでコンテンツとしてアイドルを活用して、情報発信してほしい。新潟単独では観光都市として発信していくものは少ないので、アニメなどのサブカルチャーを活用して特徴を出していく必要性もある。